(平成十年第九十回記念祭歌

紅天かなた大鷲舞い さす朝陽も映ゆる

夜気高まりて銀漢の群星や きたか ぼんがん ほし 地に轟くや

天より落つるカムイの瀑布

北嶺の樹海深遠成してほくれいもりにんえんな

きらめくや

大いなる能力求めん北天望み九十路

聳ゆ連峰果て無き眺望 そび やまなみは な ながめ 猛き心を駆き立てぬたがったる

北土佇み九十路は大どたたず、ここのそじ 満月と飲む 我を呑み込む 無限緑野静寂の中にむげんりょくやしじましっち

> 我らが魂はや九十路奮起飛び出でよ 誇り語れり現在記念祭はませれたいまきなれるい

鳳雛の翼時機を待つほうすう つばさとき 臥竜の牙深淵潜み

沸き立たん 青人満ちて九十路

狂おしき滾りほとばせ

澄み渡る瞳視つめよす やた ひとみみ

長谷川健君

作曲 作歌

谷英樹 君